

地震に備えて

耐震は充分ですか？

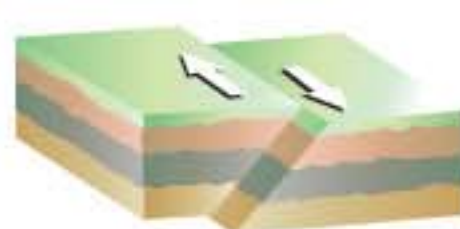


御坊市

地震の起こるしくみ

1. 活断層地震

地下の岩盤に、押し合う力や引っ張り合う力が加わることで内部にひずみのエネルギーが溜まり、これが限界に達したときに、ある面(断層面)を境に地盤がずれ動き、地震が起こります。



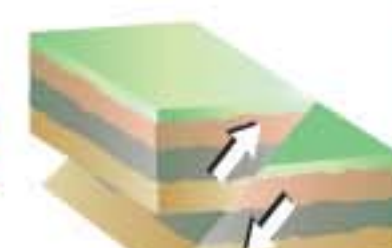
▲右横ずれ断層



▲左横ずれ断層



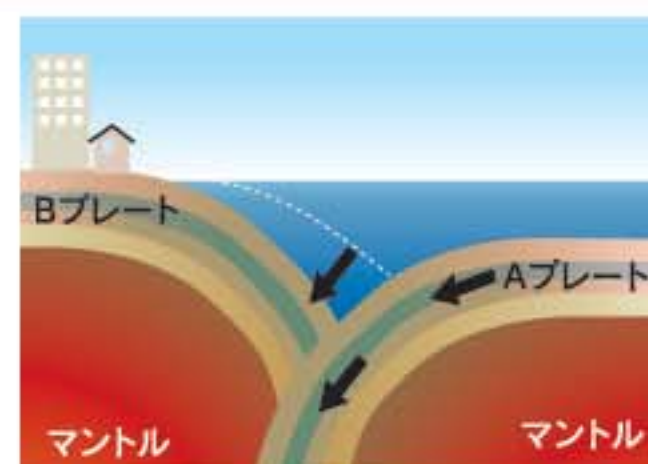
▲正断層



▲逆断層

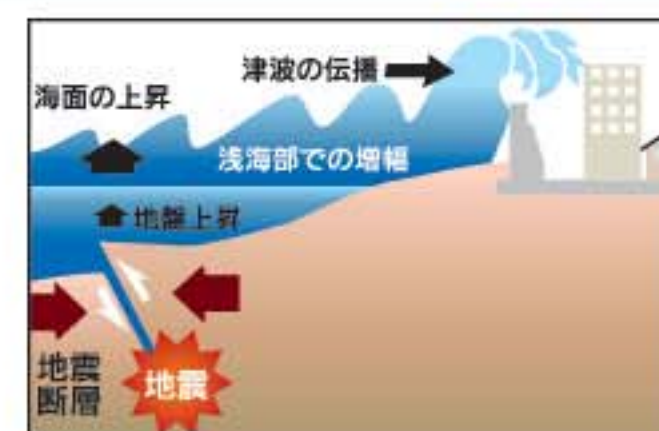
2. 海溝型(プレート境界型)地震

海側の A プレートが陸側の B プレートの下にもぐりこむことで境界にひずみのエネルギーが溜まり、これが限界に達したときにプレートがもとにもどろうとしてはね上がり、地震が起こります。



津波の発生

大きな地震に伴う海底地形の変化によって、海水は大きく動かされ波となって遠くまで伝わります。これが津波です。東海・東南海・南海地震が同時発生した場合、煙樹ヶ浜海岸沖で、津波の高さは最大 7m に達すると予想されています。



震度と想定される被害

震度に応じて生じる被害の程度を表しています。

震度	人 間	屋内の状況	屋外の状況
0	人は揺れを感じない。		
1	屋内にいる人の一部が、わずかな揺れを感じる。		
2	屋内にいる人の多くが、揺れを感じる。眠っている人の一部が、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。	
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。恐怖感を覚える人もいる。	棚にある食器類が、音を立てることがある。	電線が少し揺れる。
4	かなりの恐怖感があり、一部の人は、身の安全を図ろうとする。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。歩いている人も揺れを感じる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。
5弱	多くの人が、身の安全を図ろうとする。一部の人は、行動に支障を感じる。	つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのがわかる。補強されていないブロック塀が崩れることがある。道路に被害が生じることがある。
5強	非常な恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。一部の戸が外れる。	補強されていないブロック塀の多くが崩れる。据え付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。多くの墓石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。
6強	立っていることができず、はわないと動くことができない。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。
7	揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。	ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。

非常用持ち出し品 チェックリスト

品物をチェックしてみましょう。

避難するときに最初に持ち出すものです。
2kgから5kg程度の重さを目安に普段から準備しておきましょう。

- ☐ 飲料水
- ☐ 非常食
(ビスケット・ゼリー飲料・缶詰など)
- ☐ 携帯ラジオ (予備の電池)
- ☐ 懐中電灯 (予備の電池)
- ☐ ろうそく
- ☐ ヘルメット (防災ずきん)
- ☐ くつ (避難用)
- ☐ ふえ
- ☐ 携帯電話
- ☐ ライター
- ☐ 万能ナイフ
- ☐ ティッシュ・タオル
- ☐ ビニール袋
- ☐ 上着・下着

- ☐ 軍手
- ☐ 救急医療品
(キズ薬・ばんそうこう・
解熱剤・かぜ薬・胃腸薬など)
- ☐ 常備薬
- ☐ 小銭 (公衆電話用の10円玉硬貨など)
- ☐ 健康保険証のコピー
- ☐ 筆記用具
- ☐ 古新聞
- ☐ 使い捨てカイロ



小さな子どものいる家庭は

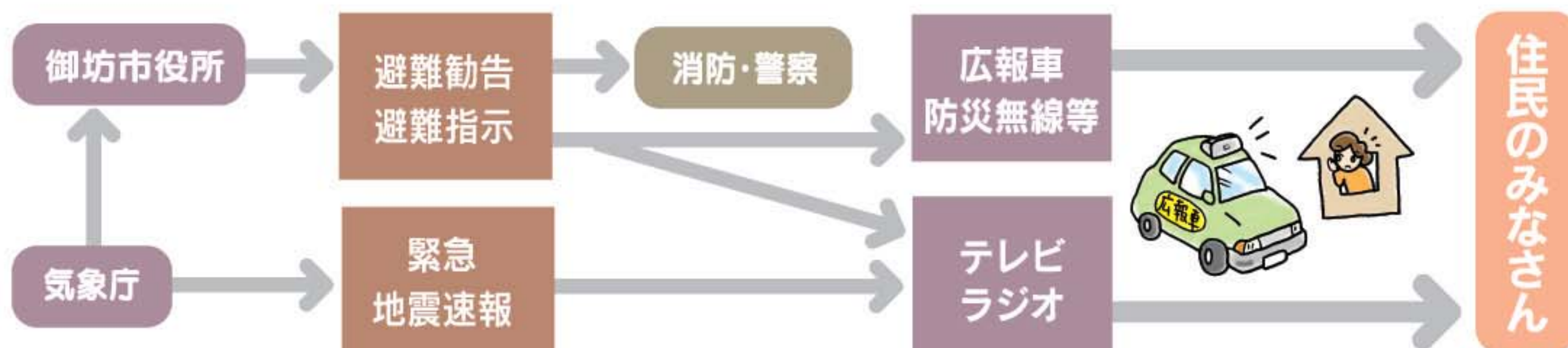
- ☐ 粉ミルク
- ☐ ほ乳びん
- ☐ 紙おむつ



- 懐中電灯は一人に一つ用意しましょう。
- 非常食は3日分を用意しましょう。
- 飲料水は1人1日2ℓを3日分用意しましょう。

情報伝達の経路

避難勧告・避難指示は、下図のような経路で、住民のみなさんに伝達されます。



地震による火災を防ぐために

火災が発生した場合は消火器などを使い、初期消火に努めましょう。
まず、周囲に「早く知らせ」、小さい火事のうちに「早く消し」、天井まで火が燃え
広がったら「早く逃げましょう」。
一家に一台は消火器を用意し、防災訓練などでは、消火器の使い方を確認して
おきましょう。



避難時の留意点



まず、身の安全を

倒れやすい戸棚や本棚からすぐ離れ、丈夫なテーブルや机の下に身をかくす。



火の元確認

避難する前にもう一度、火の元を確認しましょう。



避難は徒歩で

決められた場所へできるだけ集団で避難。持ち物は最小限に。



安全な服装

長袖、長ズボンなどの安全な服を着用し、建物のそばを避けましょう。



階段から避難

避難時は、エレベーターを利用せず階段から避難しましょう。



外へ逃げるときはあわてずに

あわてず、落ち着いた行動を。逃げるときは、瓦やガラス・看板などの落下に注意。

足もとに注意

電柱、ブロック塀、ガラス、切れた電線等に注意しましょう。



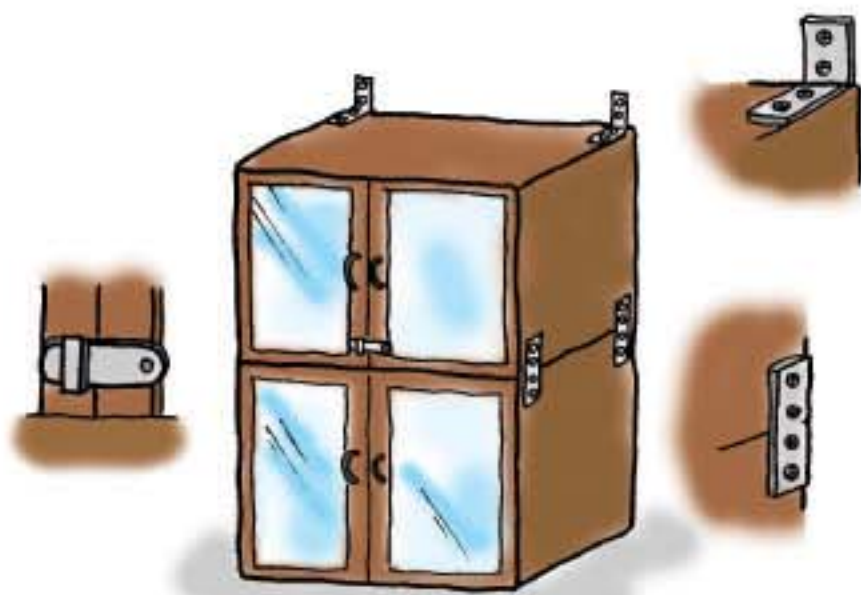
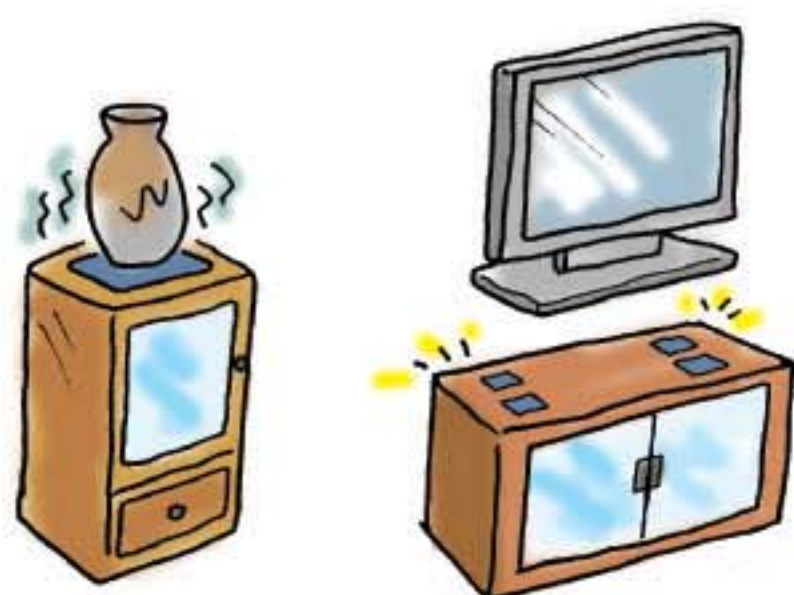
安否情報を知らせる

玄関などに避難先や安否情報を記したメモを貼っておきましょう。

被害を防ぐポイント

家の中の安全確認

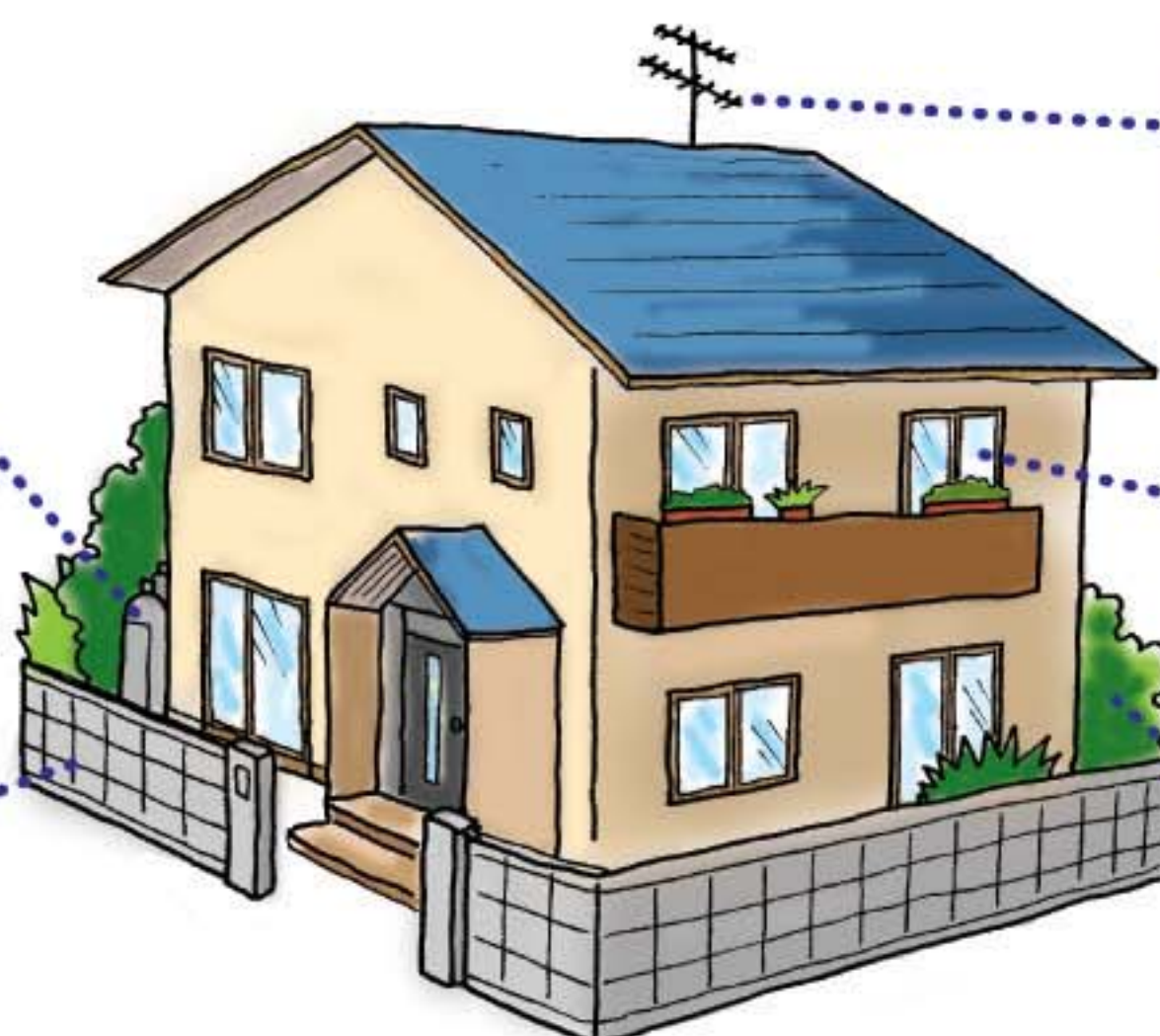
- ・家具には、転倒防止金具を取り付けましょう。
- ・テレビや置物などには、すべり止めを取り付けましょう。
- ・食器棚、本棚などは、とめ金具を取り付けましょう。
- ・戸建住宅などの場合はできるだけ2階で寝るようにしましょう。
- ・部屋の入口付近には物を置かないようにしましょう。



家の周囲の安全確認

プロパンガス:ボンベをしっかりと鎖で固定しておきましょう。

ブロック塀:ブロック塀はしっかり点検補強をしておきましょう。



屋根:不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておきましょう。

窓ガラス:飛散防止フィルムを貼りましょう

ベランダ:植木鉢などの整理整頓を。

拠点避難所一覧(所在地・電話番号)

平成20年3月現在

名 称	所 在 地	電話番号	名 称	所 在 地	電話番号
御坊小学校	藺226	21-3131	野口小学校	野口761	22-0437
御坊中学校	島10	22-3486	河南中学校	塩屋町北塩屋300	22-0749
湯川小学校	湯川町小松原179	22-0910	塩屋小学校 ^②	塩屋町南塩屋17	22-0859
湯川中学校	湯川町小松原50	22-0778	名田小学校	名田町野島326	29-2334
藤田小学校	藤田町藤井2047-1	22-0480	名田中学校	名田町上野1348-15	29-2314

② 津波が発生すると思われる地震の場合は使用できません。

いざという時の助け合い(自主防災組織)

大規模な災害が発生したとき、交通網の寸断、同時に発生する火災などにより、市・警察署・消防署等の公共機関が充分に対応できない可能性があります。また、それぞれの家庭がバラバラに活動しては、地域の混乱は一層ひどくなります。そんなときに力を発揮するのが「地域ぐるみの防災活動」「自主防災組織」です。

阪神・淡路大震災では、約95%の方が自力による脱出や家族・友人・隣人に救助されています。「自分の命は自分で守る(自助)」や、「隣近所、地域社会の人とのつながりの大切さ(共助)」など、日頃はなかなか意識しないことが、もっとも重要な防災対策であるといえます。

いざというときに備えて、日頃から「自分たちの地域は自分たちで守ろう」という意識のもと、町内会(自治会)活動の一環として自主防災組織を結成し消火、避難、救出などの訓練を行い、防災活動に取り組んでいきましょう。

阪神・淡路大震災では、救出された**約95%**の方が自力による脱出や家族・友人・隣人による救助です。



災害時要援護者の支援

◆高齢者や傷病者

車いすや応急の担架などを使用し、状況によってはおぶって移動しましょう。

◆耳のご不自由な人

大きく口を動かし、身振りや筆談を交えて話しましょう。

◆目のご不自由な人

つえを持つ手の反対の手でひじの上あたりをつかんでもらい、階段や障害物などの状況を説明しながら、ゆっくり誘導しましょう。

◆外国人

身振り手振りで話しかけ、孤立しないようにしましょう。

◆妊婦・乳幼児

行動が遅れがちな、妊婦や乳幼児のいる世帯を、地域みんなで把握し、避難時などは協力して助け合いましょう。



緊急地震速報を知っていますか？

「緊急地震速報」は、震源地近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、震源の位置、規模、想定される揺れの強さを、地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒～数十秒前に、テレビやラジオなどで素早くお知らせするものです。(震源に近い地域では、「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。)

緊急地震速報の活用

テレビで「まもなく強い揺れがきます」などというテロップが流れるなどの予告が行われますので、身を守るための適切な行動が素早く出来るように事前に訓練しておきましょう。

緊急地震速報



危険回避!



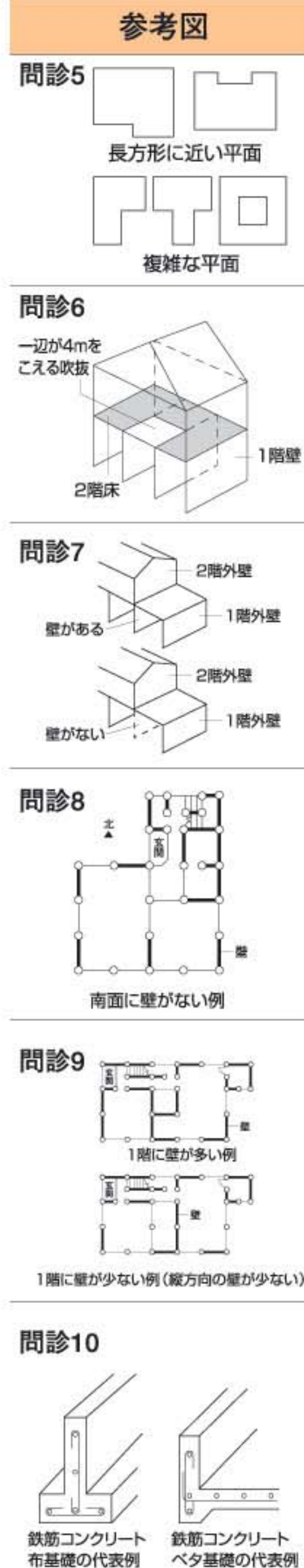
被害の軽減を目指して（簡易耐震診断）

誰でもできるわが家の耐震診断

家の安全性を確認しましょう！

巨大地震の被害などから一人でも多くの市民の生命を守るため、県と協力しながら、住宅・建築物の耐震化を促進する取り組みを行っています。巨大地震の被害から命を守るためには、住宅の耐震性を高めることが重要です。木造の住宅については、下の表を使って、簡易的な自己診断が行えます。正確な診断を依頼される場合は、市の窓口へお問い合わせください。

問 診	項 目	評 点
1 建てたのはいつ頃ですか？	●建てたのは1981年(昭和56年)6月以降。 ●建てたのは1981年(昭和56年)5月以前。 ●よく分からない。	1 0 0
2 いままで大きな災害に見舞われたことはありますか？	●大きな災害に見舞われたことがない。 ●床下浸水・床上浸水・火災・車の突入事故・大地震・崖上隣地の崩落などの災害に遭遇した。 ●よく分からない。	1 0 0
3 増築について	●増築していない。または、建築確認など必要な手続きをして増築を行った。 ●必要な手続きを省略して増築し、または増築を2回以上繰り返している増築時、壁や柱を一部撤去するなどした。 ●よく分からない。	1 0 0
4 傷み具合や補修・改修について	●傷んだところはない。または、傷んだところはその都度補修している。健全であると思う。 ●老朽化している。腐ったり、白蟻の被害など不都合が発生している。 ●よく分からない。	1 0 0
5 建物の平面はどのような形ですか？	●どちらかというと長方形に近い平面。 ●どちらかというとLの字・Tの字など複雑な平面。 ●よく分からない。	1 0 0
6 大きな吹き抜けがありますか？	●一辺が4m以上の大きな吹き抜けはない。 ●一辺が4m以上の大きな吹き抜けがある。 ●よく分からない。	1 0 0
7 1階と2階の壁面が一致しますか？	●2階外壁の直下に1階の内壁または外壁がある。または、平屋建てである。 ●2階外壁の直下に1階の内壁または外壁がない。 ●よく分からない。	1 0 0
8 壁の配置はバランスがとれていますか？	●1階外壁の東西南北どの面にも壁がある。 ●1階外壁の東西南北各面の内、壁が全くない面がある。 ●よく分からない。	1 0 0
9 屋根葺材と壁の多さは？	●瓦など比較的重い屋根葺材であるが、1階に壁が多い。または、スレート・鉄板葺・銅板葺など比較的軽い屋根葺材である。 ●和瓦・洋瓦など比較的重い屋根葺材で、1階に壁が少ない。 ●よく分からない。	1 0 0
10 どのような基礎ですか？	●鉄筋コンクリートの布(ぬの)基礎、またはベタ基礎・杭基礎。 ●その他の基礎。 ●よく分からない。	1 0 0



判定	問診1～10の評価を合計します	判定・今後の対策	評点合計
	10点 8～9点 7点以下	●ひとまず安心ですが、念のため専門家に診てもらいましょう。 ●専門家に診てもらいましょう。 ●心配ですので、早めに専門家に診てもらいましょう。	

わが家の
防災メモ

■家族の安否確認先

●避難場所	
●集合場所	
●緊急連絡先(親類・知人等)	

●家族の連絡先	名 前	生年月日	血液型	会社・学校の住所	電話番号

【災害用伝言ダイヤル 171】

震度6弱以上の地震発生時、被災地に向けての通話がつながりにくい状況になった場合、利用可能となります。

安否確認情報

災害時は、電話がかかりにくくなります。家族間の連絡は、通話ではなく、別の手段を利用しましょう。また、その際は次の点に注意しましょう。

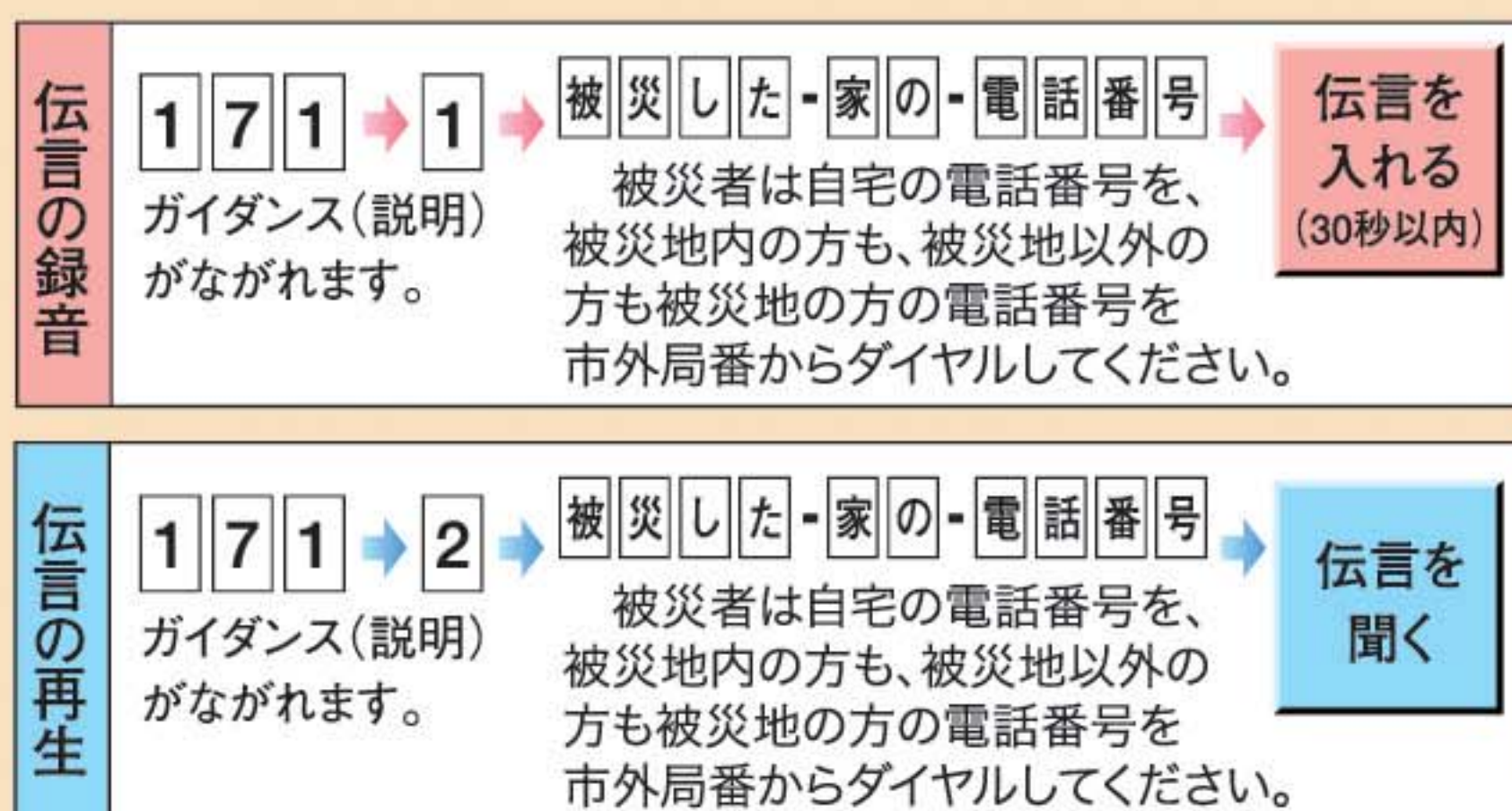
- 公衆電話は、比較的つながりやすいので、近所の公衆電話の場所を確認しておきましょう。
- 被災地にかけるより、遠隔地にかけた方がつながりやすいため、遠隔地の親戚に各自が連絡を入れて情報を集約してもらうことも有効です。

災害用伝言ダイヤルの使用法

【災害用伝言ダイヤル171】災害時に利用できるNTTのサービスです。

※サービス開始は、テレビ・ラジオ等でお知らせします。

また、毎月1日、正月三が日、防災週間、防災ボランティア週間には体験利用ができます。



※携帯電話では、「災害用伝言板サービス」も利用できます。使い方をあらかじめ確認しておきましょう。

※災害時、緊急でない利用はなるべく控えましょう！

【災害用緊急通報先】

事件・事故など	☎ 110	
	御坊警察署	☎ 23-0110
火災・救急など	☎ 119	
	御坊市消防本部	☎ 22-0800
災害用伝言ダイヤル	☎ 171	
電話の故障	☎ 113	
水道の不具合	御坊市水道事務所	☎ 22-0942
電気の不具合	関西電力（株）田辺営業所	☎ 0739-22-1212
防災無線の内容確認（聞き逃し対策）	御坊市防災無線	☎ 22-9990

御坊市 地震ハザードマップ

〒644-8686 御坊市藺350番地 電話:0738-22-4111(代)[都市建設課 市民課生活安全・防災対策室]

発行日/平成20年3月 発行/御坊市